

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	今できていることを奪わない、ということ常を意識した支援を行っている。集団で何かを行う場面は少なく、利用者様がしたいことをしたいように過ごせるよう見守っており、それぞれがそれぞれの時間の流れの中で過ごされている。訪問時も家事等代行するのではなく、自分でできるための支援にこだわってサービス内容を検討している。その人のその時の状況に合わせて、送迎時間や訪問時間を調整し対応している。独居の方の栄養状態改善のため、利用登録者に限り配食のサービスも提供しており、自宅での生活を総合的に支えられるよう努めている。独居の方では、体調不良の時に限り宿泊を利用し、不安なく療養できるようにしている方もある。
事業所名	あったかほ一む稲葉	管理者	小柳 友輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者様のニーズを知る為に、柔軟な考えで本人の声、家族の声、職員間の話し合いでの声を聴くことで利用者様の姿を知る努力をする。	利用者様やご家族様の声を聴くことはできたが、それを職員に共有することがうまくできていなかった。	・リスクマネジメントを意識し、取り組まれていると思います。 ・書面開催でしたので、常勤職員の数が記載されているときちんと回答できたと思う。 ・一部の計画で、具体的な記載がなく次回の評価が難しいと思われる計画となっている。 例)地域の行事にはできるだけ参加	利用者様、ご家族様との話した内容を簡易的に職員に伝えるのではなく、話した内容のまま共有することで、いろいろな観点から利用者様の必要とするケアを検討していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	観葉植物などを増やし、狭い空間ではあるが癒しの空間を作っていく。	玄関や廊下に観葉植物を置き、利用者様、来客者が落ち着ける環境作りを行った。	・意見無し	物を増やすだけでなく、定期的に整理をし、利用者様が動きやすく過ごしやすい空間作りをしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	オンラインなどを利用して、できる限り情報交換などをしていく。	屋外で行う地区清掃には参加できたが、ラジオ体操や夏祭りなどはコロナの影響で今年度も開催できなかった。	・コロナ禍での地域との関り、地区清掃への参加での関り、重要と感じます。	コロナ対策をした上で、回覧板等で周知した地域行事に参加していく。夏祭りの再開を検討する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	オンラインなどを利用して、できる限り情報交換などをしていく。	数名の利用者様は、民生委員の方から情報を収集できたが、ほとんどの利用者様はご家族様からであった。	・コロナ禍の中、感染拡大予防策されている中での業務ご苦労様です。	利用者様の住まれている地区の民生委員の方を把握し、随時情報共有をする。生活保護の方であれば、生活支援課の方との情報共有にも努めていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	オンライン開催を計画する	全ての会議が書面開催となっており、オンライン開催ができていない。	・意見なし	コロナ感染予防をした上で、ホームでの会議開催をしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に積極的に参加していく。	地域の防災訓練に参加できていない。	・意見なし	コロナも緩和してきている為、運営推進会議や回覧板を通し、参加していくようにする。